

地元のこと、進路のこと、

# 八戸で18年間を過ごした**高校生**からの



## 充実した高校生活

3人が所属している生活文化科は、ファッションの基礎など家庭生活に役立つ教養や技術を身に付ける学科です。

— 高校生活で力を入れた活動を教えてください。

**大山さん** 今年(令和5年)3月、3年生3人・2年生4人で、学校制服縫製工場の制服の残り布を使って、館鼻岸壁朝市公認アイドル「pacchi」のオリジナル衣装を作りました。スカートにボリュームを出すため、ウエスト部分に布を重ねて縫うのが難しかったです。pacchiの皆さんが泣いて喜んでくれたので作って良かったです。

**武田さん** 今年10月、はちのへホコテンの高校生企画「生活文化科ファッションショー」と「縄文ファッションショー」で責任者を務め、自ら制作したデニムジャケットとチェックシャツをリメイクしたセットアップを着て、モデルとしても参加しました。学校行事以外でファッションショーができたことで、いろいろな人に自分たちの活動を伝えることができてうれしかったです。

**大堀さん** 史跡根城の広場で着用体験に使用される、中世に庶民が着用していた小袖とはかまを制作中です。広場内のブナの木の手で草木染めをしました。染色した布から色が出なくなるまで、何度も水洗いをしたのが大変でした。先輩たちが作ったものを参考にしながら、手縫いとミシンで作っています。



▲活動していること、思い出を沢山教えてくださいました。  
(左から、武田さん、大堀さん、大山さん)



# メッセージ

この春、卒業を迎える高校生は、八戸で過ごした18年間に何を思うのでしょうか。

高校生地域づくり実践プロジェクトの一環として『縄文にときめく』～オリジナルグッズでもっと縄文が好きになる～」をテーマに、縄文文化を学び、縄文グッズの制作を行った千葉学園高等学校生活文化科3年生の3人に、高校生活、進路、八戸の未来のことをお聞きしました。

(取材は11月下旬)

岡広報統計課 ☎43-9317(記事について)

## 八戸での18年間の思い出は？



おおやま あやか  
大山彩希さん

### 高校3年間の日々

生徒会役員として、学校行事の企画運営に携わったことや、検定合格に向けて友だちと一緒に取り組んだ一つ一つが、かけがえのない時間です。



おおぼり こほ  
大堀好香さん

### 部活に打ち込んだテニスコート

テニスコートはテニス部の活動で沢山通ったので第二の家です！新井田公園の4月にリニューアルしたテニスコートで、春季大会の選手宣誓ができたことがうれしかったです。



たけだ かなな  
武田菜愛さん

### 中心街での貴重な経験

はちのへホコテンでファッションショーをしたのが濃い思い出で貴重な経験でした。はっちで、他の高校生や大学生と、開催内容について意見を出し合って交流できました。

## 地域の魅力を発見

— 高校生地域づくり実践プロジェクトの感想を教えてください。

**大山さん** 是川縄文館にお話を聞きに行ったときに、縄文時代の土偶がそのまま残っていて縄文文化のすごさに気付きました。グッズを作るために文様や土偶を調べたことが、より深く知るきっかけになりました。作品制作を通じて縄文文化と接点ができ、縄文文化の見方が変わりました。

**大堀さん** 合掌土偶に愛着がわきました、かわいいんじゃない？って。国宝の一つが八戸にあるのがすごいなって思いました。

**武田さん** 耳飾りを着けた女性をデザインしたチャームを作りました。縄文時代の女性もアクセサリを身に着け、おしゃれだったことを知り感動しました。縄文時代の文様は現代にも通じると感じ、興味が湧きました。

— 大山さんと大堀さんは、11月3日の是川縄文の日には、是川縄文館で、制作したグッズを販売したそうですが、お客さんの反応はどうでしたか？

**大山さん** 小さい子からお年寄りまで沢山の方が「かわいい」とか「鮮やかなのいいね」って喜んでくれたのでよかったです。

**大堀さん** お客さんが喜んでくれてやりがいがありました。



▲刺しゅうで作ったチャーム・キーホルダー

## わたしたちの進路選択

それぞれの道を進んでいく3人に、進路を決めた経緯をお聞きました。



**大堀さん** 市内就職で、スポーツインストラクターとして働きます。器具の使い方を教えるほか、その人に合わせたトレーニングメニューを作ったりエクササイズレッスンをしたりします。もともと運動が好きなので、スポーツ関係の仕事に就きたいと考えていました。高校2年生頃まではサポートする側になりたくて、柔道整復師の資格を取得できる学校への進学も考えていたのですが、サポートだけではなく自分も動きたいと思って、就職にも視野を広げてみたら市内にやりたいことができる仕事がありました。青森県は短命県と呼ばれているので、皆さんに楽しく運動してもらい健康になってほしいです。



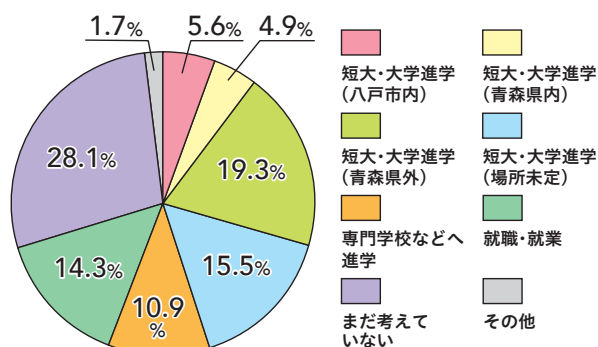
**大山さん** 東京にある言語を学べる専門学校へ進学し、英語とフランス語を専攻します。小さい頃に読んだ「星の王子さま」の原書が、フランス語だと先生から教わったことが、言語を学びたいと思った最初のきっかけです。それから、英語検定を受けて分かる英語が増えていくことが楽しかったり、K-POPが好きで韓国語も分かるようになったりといった経験を通して、理解できる言語が増えると視野や可能性が広がっていくと感じました。ホテルに勤めたいと考えた時期もありましたが、どんどん外国語を勉強したい気持ちが強くなり、先生に相談して言語を学ぶ学校に進学することにしました。



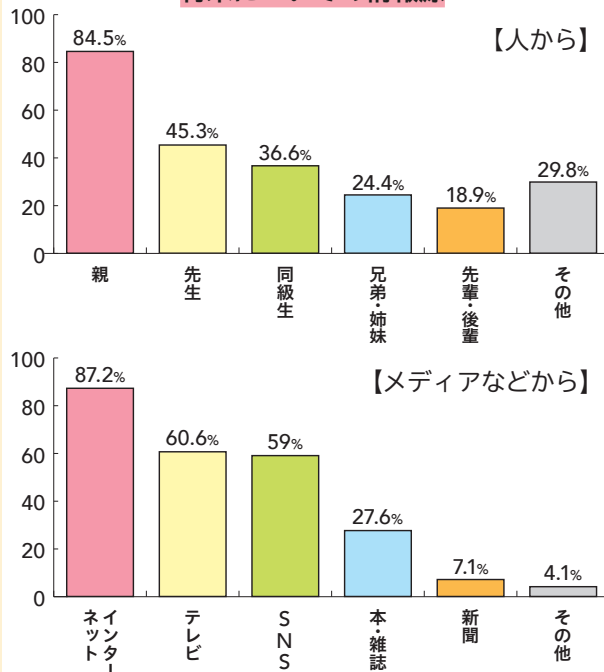
**武田さん** 市内就職で、美容関係の職種です。ブライダル関係の就職を考えていた高校2年生の時に、結婚式当日の新郎新婦に密着した動画で、新婦がブライダルエステを受けてエステティシャンに感謝している様子を見て、自分の技術でお客様に喜んでもらえる仕事がしたいと思い志望しました。エステは若い人たちにとって費用が高いイメージがあると思います。八戸で美容を活発にして、行きやすい雰囲気を作ってイメージを変えていきたいです。

市では、5年6月から7月に、小学5年生から高校生を対象とした「令和5年度八戸市若者意識調査アンケート」を行いました。

### 高校卒業後の進路



### 将来についての情報源



※1 グラフは調査結果をもとに加工しています。

※2 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出。そのため、回答比率の合計が100%にならない場合があります。

※3 複数回答の場合、回答の合計比率が100%を超える場合があります。

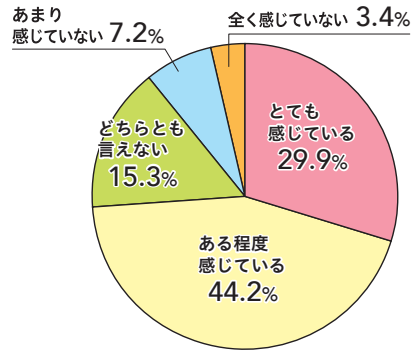


## 考えてみた、未来のこと。

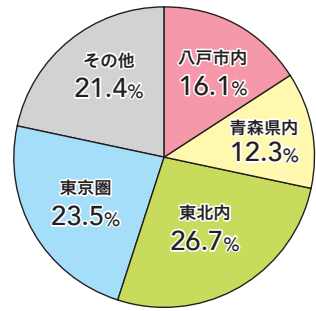
令和5年度八戸市若者意識調査アンケートで、八戸へ愛着や親しみを感じていると答えた人は74.1%でしたが、将来、八戸に住みたいと答えた人は16.1%でした。

そこで、卒業を迎える3人に、八戸に住み続けたいか、若い人が八戸に住みたいと思うにはどうしたらよいかアイデアをお聞きました。

八戸市への愛着・親しみ



将来希望居住地



ふっちゃん

## 八戸に住み続けたい？

八戸に住み続けたい！  
慣れているし住みやすい！  
八戸ならいろいろなところ  
に行ける。  
(大堀さん)

東京で経験を積んで、八戸  
に自分に合った職場がある  
なら戻りたい。なかったら、  
たぶんずっと東京…。  
(大山さん)

八戸で経験を積みたい。でも、  
関東で仕事に必要な技術を学  
んでみたい気持ちもある。技  
術を高めて八戸で活かしたい！  
(武田さん)

教えて！

## 八戸をもっと住みたいまちにしていくなめにはどうすればいい？

### 八戸ならではの発信

若い人はSNSを使うので、InstagramやYouTubeで、八戸ならではのものを発信していくと、魅力に気付いて八戸に住みたいと思うかも。例えば「縄文」だったら、こどもの国で開催している「縄文なべまつり」を大きく取り上げて発信するとか！

もっと八戸の  
ことを  
知りたい！



### 地域の活動を増やす

小さい頃から地域の活動に参加すると、新たな魅力を知ることができると思う。そういった活動を増やしていくと、八戸の魅力に気付いて住み続けたいって思うんじゃないかな。



八戸で  
体験  
したい！



### 美容・ファッション系の店舗を増やす

県外に行く人は、地元で「自分が就きたい職種の求人がない」、「遊ぶところがない」と言っているの、美容・ファッション系の店舗が増えたら求人も増えるし若い人も楽しめると思う。自分たちがイベントを企画する側になるのも、魅力に気付くきっかけになるし、楽しいって思える！

好きになる  
きっかけが  
ほしい！



3人はこれまでの経験を踏まえ、若い人が八戸の魅力に気付く住み続けたいと思うまちにするために、18年間で地元のことをもっと知り、地元でさまざまな体験をして、地元をもっと好きになるきっかけを作ることが大切だと考えてくれたにや。

魅力あるまちづくりのヒントを教えてもらったにや！育ってきた18年間って大事ななんだにや〜！